白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合

酪農だより

Vol. 686

平成31年3月号

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」～酪農家の心を食卓へ～

今月の特集
子ども達の目に映る「酪農」
琴浦町立聖郷小学校 酪農体験

現場潜入
大山乳業農協の牛乳ができるまで

各種活動レポート

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ

子ども達の目に映る「酪農」
琴浦町立聖郷小学校 酪農体験

2頭の子牛が学びの証 体験から知る地域の酪農

先日、琴浦町にある陰山牧場で2頭の子牛が誕生しました。名前は「サン」と「パプリカ」。2頭の名付け親は牧場近くの小学校「琴浦町立聖郷小学校」の3年生。

2頭の名前の由来を伺うと、最初に産まれたサンは、クラス目標「sun・サン・3」から名付けたとのこと。太陽のように元気に明るく育ち、おいしい牛乳をたくさん出してほしいという子ども達の願いが込められています。サンの次に産まれたパプリカは、参観日をはじめ、クラス全員でよく歌う曲のタイトルだそうです。どちらもこのクラスならではの思いが詰まった名前が付き、牧場ですくすく育っています。

2頭が産まれる数日前の2月12日、聖郷小学校3年生21名は陰山牧場を訪ねました。同小学校では、数年前から総合的な学習の授業で3年生になると、地元の酪農について学ぶため、近隣の牧場を訪れ酪農体験を行っています。

生徒の多くは牧場に入るのはもちろん、本物の牛を見るのも初めて。体験を通して子ども達の目に酪農はどのように映るのか、楽しみです。

子どもならではの驚きと発見で酪農を体感

今回は牛舎見学と酪農体験を行い、地元の酪農について理解を深めます。陰山牧場の陰山光彦さんの奥様、仁美さんが、牛舎を案内してくださいました。

仁美さんに案内され、まず訪れたのは子牛の元。約80頭の乳牛を飼育する陰山牧場では年間約45頭の子牛が誕生します。この日も2頭の子牛が子ども達を出迎えました。

この頃の子牛は人の手からミルクを与えられるため、あまり人を怖がらないそうです。子ども達も自分たちとさほど変わらない背丈の子牛を「可愛い」と覗く微笑ましいようすが見られました。

「では、次は親牛の所に行って、餌やりの体験をしてみましょう。」

仁美さんの視線の先にある牛舎からは、先程の子牛よりはるかに大きい親牛が、じっとこちらを見ています。案内されて牛舎に入ると、その体は子ども達の目にはさらに大きく映り、まるで壁のよう。大きな胴体と、大きな顔にあちらこちらから「でかい!」「怖い!」と声が聞こえます。

一方の牛達はそんな事はお構いなし。「どこから来たの?」「牧場へよう

こそ」と言わんばかりに子ども達の方へ首を伸ばします。

子ども達の視線からは目と鼻の先まで牛の顔が近づいているように感じる距離でいよいよ餌やり体験です。牧草を手に持ち牛の口元へ差し出します。恐る恐る手を伸ばす子ども達を驚かせたのは舌の長さ。初めて見る牛の舌の長さに「うわ！」と驚いて手から牧草を離してしまう子もいましたが、何度も挑戦すると「もう全然怖くないよ」と牛に慣れたようすでした。

子ども達はそれぞれの驚きや発見の中で、牛と触れ合いました。

子どもにとって酪農は「特別」だからこそ「楽しい」が大切

近年、若年層の「酪農離れ」が進み、食卓に上る牛乳がどのようにして出来上がるのか知らない子ども達が多いと言われています。

鳥取県中部に位置する琴浦町は、県内でも酪農が盛んな地域の1つ。

以前から陰山牧場や地元の酪農家の元へ牛舎の見学や牛の絵のスケッチなど小学生や先生が牧場を訪れることはあったそうです。陰山牧場では、「牛の出産を見た事がないので是非見てみたい」という小学校の先生に、出産の際に連絡し先生が駆けつけ牛の出産に立ち会えたという交流のエピソードもあるそうです。

しかし、最近まで子ども達に酪農体験をしてもらう機会がなく、最初は見学だけだったところ「せっかくだから牛を見て歩くだけより、餌をやってみたらどう？」と光彦さんの提案で、酪農体験に発展したそうです。

今では、陰山牧場を含めた小学校近くの牧場が授業に協力しています。

陰山さんも子ども達に楽しんでもらえるように受けた質問にわかりやすい言葉を選び答えたり、クイズを交えて工夫されていました。

楽しい時間はあっという間。担任の空野先生が帰りの時間を告げると「もうおしまい？」と残念そう。今回の体験が子ども達にとって、楽しい時間だった事が窺えました。

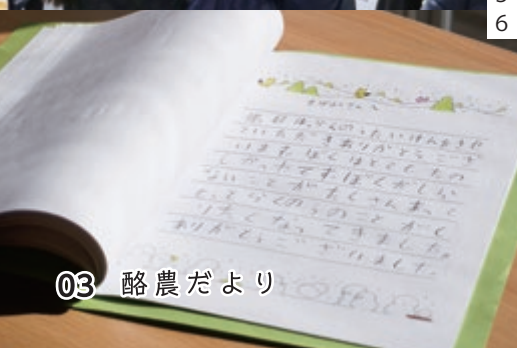
酪農体験から数日後、陰山さんのもとへ小学校からお礼の手紙をまとめた冊子が届きました。お借りして読み進めていくと、沢山のお礼の言葉と共に、「牛の事が好きになりました」という言葉と感謝が詰まっていました。

私達が搾った生乳から出来るおいしい牛乳飲んでね！

陰山牧場を訪れて数日後、子ども達は大山乳業農協の市乳・ヨーグルト工場へやってきました。

先日の酪農体験の中で牧場で搾乳された生乳が工場へ運ばれていくまでのようすも学んでおり、運ばれた牛のお乳は、どのようにして毎日飲む牛乳になるのか。そしてその工程ではどんな苦労や気を付けていることがあるのかを学ぶため、子ども達は工場の見学通路から見える製造のようすや、見学案内の職員の話を熱心に聞きながら見学しました。

今回の酪農体験と工場見学は中身が詰まった貴重な体験の数々と子ども達の豊かな表情、そして陰山さんの笑顔が印象的でした。授業をきっかけに酪農について興味を持った子ども達が将来、「自分たちの故郷には酪農を営む素敵な酪農家と、健康な牛から搾った生乳を使ったおいしい牛乳がある」と胸を張ってくれると嬉しいと感じました。



1. 牛舎を訪れた際、ちょうど食事の時間でした
2. 今回お世話になった陰山牧場の陰山光彦さん
3. 親牛の模様に「ハート」を発見！
4. 産まれたばかりのサンちゃん
5. 工場見学でも熱心に話をきいていました
6. 子ども達から届いた、たくさんの「ありがとう」

現場潜入

大山乳業農協の牛乳ができるまで

《第３回　殺菌・貯乳・充填編》

受入れ検査に合格した生乳の行方

先回、様々な検査に合格し、工場内へ生乳が受入れられるようすをご紹介しました。今回は健康な牛から搾った生乳が集乳車で大切にリレーされ、製品へと姿を変えていきます。

牛乳を製造する工場の中は、機械化が進み、大きなタンクや張り巡らされたパイプラインが特徴です。ここでは、機械の精密な技術と、それを制御する職員のコンビネーションで日々、安心・安全な牛乳が製造されます。

今回は大山乳業農協の代表的な製品「白バラ牛乳」の製造工程に迫ります。

白バラ牛乳の製造工程に潜入！

まず工場内に受入れた生乳に行う工程は3つ。「清浄」「冷却」「貯乳」です。クラリファイヤーという専用ろ過装置で、目に見えない小さな異物まで遠心力で取り除きます。その後、プレート冷却機であっという間に冷却。通称サイロタンクと呼ばれる貯乳タンクへ用途別に振り分けます。サイロタンクは全部で13基あり、最

大で455tもの生乳を保管出来ます。生乳は10℃以下に管理された状態で、次の工程を待ちます。

次の工程へは、サイロタンクからパイプラインを通して直接生乳が送られ、「均質」「殺菌」「貯乳」「充填」の4つの工程へ進みます。

「均質」の工程では、細かい隙間から高圧で脂肪球を押し出すホモゲナイザーと呼ばれる機械を使います。生乳は脂肪球が大きく、しばらく静置すると生乳中の脂肪が分離し、上部にクリームの層が出来るという特徴があります。これを防ぐために均質化を行い、脂肪球の大きさを一定に揃えます。

こうすることで、脂肪分の分離を防ぎ、安定した品質の牛乳を出荷することが出来るようになります。また、消化吸収がより良くなるというメリットもあるそうです。

続いて、生乳を加熱殺菌する「殺菌」の工程です。生乳は殺菌処理を経て「牛乳」と呼ぶことができます。牛乳専用の殺菌機で1時間に16000Lもの生乳を殺菌出来ます。

熱水に触れているステンレス板の中を通すプレート式殺菌機で、瞬間的に120℃以上に加熱し、2秒間殺菌。その後、おいしさを保つため冷却機で速やかに10℃以下に冷却します。冷却機の出口にはフィルターがあり、そこでろ過されると「貯乳」の工程へ。

貯乳タンクはサージタンクと呼ばれ、全部で14基。タンクの中は10℃以下に管理され充填を待ちます。

「充填」とは、容器の中に中身を注ぐ作業です。出来上がった牛乳を充填機であっという間に容器に詰めていきます。紙パックの場合、機械が自動で、折りたたまれた包材を箱型に成形し、内側に紫外線ランプを照射し殺菌します。牛乳を注ぐと、包材の上部を屋根型に成形。皆さんおなじみの白バラ牛乳の誕生です。夏場になると製造量は、白バラ牛乳の1000mlだと、なんと1週間あたり13万本に上ります。

容器に詰められた牛乳は、金属探知機で金属異物の混入が無いか検査を行い、賞味期限を印字します。正しく印字されているか一つ一つカメラでチェックできる仕組みになっています。最後に重さを測り、決められた容量が入っているか確認します。

箱詰めも機械により自動で行われます。牛乳をつくる工程は、ほとんどの作業を機械が行い、人の手に触れることが少ないため衛生的です。どこか1か所でも異常があれば、製造ラインが止まり、製品が出来ません。機械だけでなく機械に詳しい専門の職員がいるからこそ毎日安心安全な製品がつくられているのです。

1

2

3

4

1. 工場の中には大きなタンクがいくつもあります
2. パイプラインは機械で制御されています
3. 専用ろ過機クラリファイヤー
4. この機械で成形・充填が行われます
5. 次々と出来上がる白バラ牛乳
6. これからも皆様に愛される製品を目指します

5

6

切欠きは、思いやりのパッケージ

皆さんは、牛乳パックの屋根の部分にくぼみがあるのはご存じですか？

これは「切欠き」と呼ばれ、目の不自由な方に「牛乳」と伝える印です。日常の食生活で、同じ形の紙パックの中身がわからないことに不便を感じることなく、牛乳と他の飲料を区別できるように2001年からつけられるようになりました。ただし、任意表示となり、全てのメーカーでつけられているわけではないので注意が必要です。

切欠きは、目の不自由な方に限らず裏面を確認しなくても一目で牛乳と判別できるのはとても便利ですね。

今回の潜入で、白バラ牛乳は品質の「安心」だけでなく、心の「安心」も兼ね備えた製品だと実感しました。

営業課レポート

鳥取県生協 産直ミニ懇談会開催

2月13日（水）と2月26日（火）にそれぞれ鳥取県生協「産直ミニ懇談会」が東部支所と西部支所で開催されました。鳥取県生協の組合員理事をはじめ、多くの組合員様にご参加頂き、生産者と生協組合員様の交流をはじめ、乳和食のレシピ提案やグループ交流など、充実した内容となりました。

生産者と生協組合員様の交流では、東部支所に岩永正司さん、西部支所に吉田裕美さん・岸本忍さん・田宮文子さんにご参加頂き、生産現場の現状や苦労などお話し頂きました。生協組合員様は熱心に生産者の話を聞いておられ、中にはメモを取りながら話を聞かれているのが印象的でした。

西部支所で行われた乳和食のレシピ提案では、生産者の吉田さん、岸本さん、田宮さんによる家庭で手軽にできる乳和食「かぼちゃのミルクそぼろ煮」の調理実習を行いました。簡単に作れておいしいため、試食の際、皆さんに大変好評でした。

牛乳の飲み比べも行われ、鳥取県生協の「産直コープ牛乳」・「産直コープ低脂肪牛乳」・「鳥取大山おいしい牛乳」の3種類の飲み比べを行いました。まずは、3種類を飲み比べてもらい、後で答え合わせをしながら商品の特徴を説明すると、「産直コープ牛乳」は当てられる方がほとんどでしたが、普段あまり飲んだことがない「産直コープ低脂肪牛乳」と「鳥取大山おいしい牛乳」を間違われる方が多くおられ、大変盛り上がりました。

その後は、数名のグループに分かれ、昼食を食べながら交流を行いました。各グループとも生産者に対しての質問がでて、産直ミニ懇談会ならではの密な交流が出来ました。

次回、中部エリアの産直ミニ懇談会を5月に予定しております。中部の産直ミニ懇談会でも多くの組合員様と交流し、しっかりと生産者・当組合製品をPRしたいと思います。

交流会のようす

調理実習のようす

製造管理課レポート

今年1回目の工場見学開放デーを開催

3月9日（土）、「見学通路開放デー」を開催しました。昨年から「み・る・く」にちなんで「3・6・9」月に定期開催しています。

昨年は回を重ねるごとに多くのお客様にお越しいただき、年間累計8000名を超えるご来場となるなど、大きな反響があり、工場見学PRに一役買いました。

このイベントは、工場見学の敷居を低くし、リピーターの方はもちろん、これまで来場の機会のなかった方にも気軽に工場見学へお越しいただければという思いで普段の工場見学とは少し趣向を変え、自由に見学通路をご覧いただける企画となっています。

今回参加される方の中には、小さなお子様をお連れのご家族が多く見受けられました。県外からもご来場いただき「楽しみにしていました！」とお声かけいただく場面もありました。皆さん興味深そうに見学通路から工場内を覗き込んだり、その他に準備された来場特典を思う存分堪能され、帰りを渋るお子様の姿も。

この日は見学通路開放に加え、見学施設の一角にフォトスペースを設置。お子様を中心に、ご家族やお友達同士で和気あいあいと楽しまれる姿が見られ、印象的でした。

また今回は来場特典として、8種類の景品の中から何が当たる！はずれなしのガチャポンをご用意。お一人様1枚ずつ専用コインをお渡しし、老若男女、ご来場の皆様にお楽しみいただきました。

開催時間は2時間程でしたが、県内在住の方を中心に県外からもお越し頂き、春らしい日差しの中、和やかな雰囲気でイベントを終えることが出来ました。多くの皆様のご来場、ありがとうございました。

「工場見学来場者数、年間1万人」を目標に、今年も企画・イベントの実施など工夫を凝らしていきたいと思います。

▲見学通路では、スタッフが質問に答えます

▲靴箱には牛乳にまつわる豆知識のついたシートを新たに設置しました

月刊 エンドーさん

今年も花粉症で苦労される方にはつらい時期がやって来ました。この号が出るころには、飛散のピークをむかえているのではないでしょうか。

昨年の猛暑の影響もあり、日本気象協会の発表では、今年の中国地方のスギ花粉の飛散量は例年と比較して「多い」との予測です。また、スギ花粉から約１カ月遅れでヒノキ花粉がピークをむかえますが、昨年は例年比約５倍と激増しているようです。

ところで、「花粉症にはヨーグルト（乳酸菌）が良い」と皆さん一度は耳にしたことがあるのではないでしょうか。

これってどのようなメカニズムかご存知ですか？

人の白血球中にはＴｈ１細胞とＴｈ２細胞という免疫細胞があり、通常時はバランスを保って正しい免疫力を維持しているのですが、腸内に悪玉菌がはびこったりするとＴｈ２細胞の方が優位になり、アレルギー反応を起こしやすくなるそうです。

これに対し、一部の乳酸菌・ビフィズス菌について、腸内バランスを整え、免疫調整作用のあることが研究によって実証されており、今では花粉症に効果があるとうたったヨーグルト、サプリメントも販売されています。

ただし、あくまで症状の軽減であり、効果については個人差がありますので、症状のひどい場合には、かかりつけのお医者さんに相談しましょう。

大山乳業農協へ小学生からの

ありがとう

全国学校給食週間

先日行われた全国学校給食週間の期間中、大山乳業農協営業課の職員が小学生と給食交流を行いました。今年の給食週間のテーマ、「ふるさとのよさを見直そう～鳥取の味、再発見！～」にちなみ、各学校給食センターが趣向を凝らした給食を提供される中、大山乳業農協は、営業課の職員が学校を訪問し牛乳についての出張授業を行い、その後生徒と一緒に昼食をとりました。大山乳業農協は、現在鳥取県内で給食を提供する小・中学校全てに白バラ牛乳、または白バラパスチャライズ牛乳を提供しており、参加した職員に話を伺うと、昼食はにぎやかで、皆さんが牛乳をおいしいと言って飲んでいる姿を見られてよかった。とのことでした。

ホームページに寄せられる消費者の方からのコメントにも「子どもが白バラ牛乳じゃないと嫌だといいます。」や「違うメーカーの牛乳を買うと、給食で飲むのと違うといいます。」などのお声も拝見します。今後も、幅広い世代に飲んで頂けるよう普及に努めていきます。

沢山のお礼のお手紙を頂きました

交通安全鉄人コンテスト表彰式に参加

2月16日（土）に大山町中山農村環境改善センターにて「第25回交通安全鉄人コンテスト琴浦大山」表彰式が行われました。

大山乳業農協からは、7チームがエントリーし、そのうち5チームが期間中の無事故無違反を達成しました。

今後も組合全体で交通安全に取り組んでいきます。

達成者には無事故・無違反証明書が送られました。

私のオススメ

九州営業所の横尾です。こちらに赴任して、もうすぐ2年になります。

私がオススメするのは、「可愛いいちごアイス」です。

私は主に生協、宅配、ベンダーの営業を担当しております。赴任して最初に携わったのがエフコープとの「商品づくり」で、可愛いいちごアイスはその際に手がけた思い出深い製品です。

エフコープの組合員様と意見交換を行い試行錯誤しながら約半年かけてようやく完成しました。

ミルク風味のアイスにいちごの甘酸っぱい酸味が効いておいしいのはもちろん、ホワイトチョココーティングのパリパリ感といちご顆粒のプチプチ感といった食感も楽しめます。

これからアイスのおいしい季節がやってきますので、この可愛らしいピンクのパッケージを見かけたら是非食べてみて下さい。

ピンクのパッケージが目印です！

指導課通信

Guidance Division Information

公益財団法人 鳥取県畜産振興協会 乳用牛放牧預託牛成績状況報告

単位：頭　　平成31年2月28日現在

牧場名	区分	頭数	内訳									
			育成牛	種付け対象牛				妊娠牛（月齢）				
					うち種付中		未種付		17以下	18～20	21以上	妊娠牛中のET
						うち妊鑑待ち						
鳥取放牧場	乳牛	557	143	170	116	40	54	244	85	134	25	76
	割合(%)	100	26	31	21	7	10	44	35	55	10	31
鳥取放牧場計	乳牛	557	143	170	116	40	54	244	85	134	25	76
	割合(%)	100	26	31	21	7	10	44	35	55	10	31
大山放牧場	乳牛	460	142	145	91	35	54	173	84	60	29	36
	割合(%)	100	31	32	20	8	12	38	49	35	17	21
俵原牧野	乳牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合(%)											
大山放牧場計	乳牛	460	142	145	91	35	54	173	84	60	29	36
	割合(%)	100	31	32	20	8	12	38	49	35	17	21
総計	乳牛	1017	285	315	207	75	108	417	169	194	54	112
	割合(%)	100	28	31	20	7	11	41	41	47	13	27

※1　種付けは、13ヶ月以上、体高127㎝で実施
※2　妊娠牛月齢の割合及び妊娠牛中のETの割合は、それぞれ妊娠牛中の割合

ET実績（乳牛）
※実施数、受胎率は鑑定済みのもの

年月	実施数	受胎数	受胎率
H30.01	40	22	55%
H30.02	37	18	49%
H30.03	81	45	56%
H30.04	43	21	49%
H30.05	42	23	55%
H30.06	34	15	44%
H30.07	36	15	42%
H30.08	34	13	38%
H30.09	52	29	56%
H30.10	61	30	49%
H30.11	58	33	57%
H30.12	37	21	57%

AI実績（乳牛）

年月	実施数	受胎数	受胎率
H30.01	106	64	60%
H30.02	103	59	57%
H30.03	77	42	55%
H30.04	98	49	50%
H30.05	103	60	58%
H30.06	82	49	60%
H30.07	58	21	36%
H30.08	96	48	50%
H30.09	113	61	54%
H30.10	121	76	63%
H30.11	144	82	57%
H30.12	115	62	54%

平成31年2月分 生乳出荷量別生産者戸数

出荷乳量	出荷戸数（戸）	
	平成31年	平成30年
100t 以上	**11**	9
80t 以上 100t 未満	**4**	6
60t 以上 80t 未満	**10**	8
40t 以上 60t 未満	**12**	12
20t 以上 40t 未満	**30**	28
10t 以上 20t 未満	**22**	32
10t 未満	**24**	26
計	**113(+1)**	121(+1)

輸入粗飼料の情勢

品　目	今後の改定要因			特　記　事　項
	品代	為替	フレート	
フレート			→	複数の船社から３月の海上運賃一斉値上げが通知されていたが、主要な積出港の値上げについては概ね回避されている。しかしながら、海上運賃は依然として低水準で推移していることから、各船社は諸チャージの値上げや新たなチャージを設けるなど、引き続き様々な形でコストの転嫁を図っている。
ビートパルプ	→	↑（円安傾向）	↑	新穀の作付は例年通りであればアイダホ州など早い地域で３月末、日本向け主力のミネソタ州およびノースダコタ州では４月よりスタート、順調にいけば５月中旬には終了の見込みである。大手サプライヤー傘下の各地域における新穀の作付面積は、昨年比から微増を見込んでおり、今後の天候によっては、追加の作付も行われる可能性がある。
ヘイキューブ	→	↑（円安傾向）	↑	
スーダングラス	→	↑（円安傾向）	↑	早播きスーダンの作付量に影響を及ぼすデュラム小麦の作付面積は、２月１５日時点で前年同月比３４％と産地相場の低迷を受け、大きく減少している。このため、早播きスーダンの作付面積は増加することが期待される。一方で、アルファルファや他の牧草類の産地価格が上昇する展開が予想される中、新穀のスーダン相場が連れ高になることは十分に想定できるため、注視していく必要がある。早播きスーダンの作付は例年より２～３週間程遅れている。
アルファルファヘイ	→	↑（円安傾向）	↑	米国農務省の統計によるとワシントン州における１８年産のアルファルファの生産量は１７年産に比べ２０％程度減少している。このため、新穀の収穫開始前後から積極的な買い付けが行われると予想されており、産地相場への影響が懸念される。米中貿易戦争に伴う高額な関税の発動を受け、中国向けの輸出量は例年に比べて低調で、多くのサプライヤーから、中国国内の在庫が減ってきており引き合いが出始めているとの情報もあり、こちらも新穀の相場への影響が予想される。
USチモシー	→	↑（円安傾向）	↑	新穀の作付面積は、昨年から産地相場が他作物に比べて相対的に高値で推移したことから若干増加するものと見込まれている。 産地相場については、日本および韓国からの引き合いは引き続き堅調であることから、相場は弱含む要素に乏しく、新穀までは現状のまま高値で推移するものと予想される。
カナダチモシー	→	↑（円安傾向）	↑	１９年産の作付面積は他作物の相場が低調なことから、横ばいもしくは微増と予想されている。
オーツヘイ	↑	↑（円安傾向）	↑	一部の生産農家がさらなる価格上昇を期待して在庫を抱えている。 日本、韓国、中国および台湾からの需要は堅調に推移しており、在庫を確保できたサプライヤーの工場ではフル生産が続いている。各国からの需要が堅調なことと豪州側の供給余力が例年よりも乏しいことから、産地相場は高騰したまま堅調に推移している。今後は豪州国内の酪農家、肥育牛農家が冬期給与用の乾牧草の確保に動くことが予想され、産地相場の動向を注視していく必要がある。
クレイングラス	→	↑（円安傾向）	↑	２月１５日時点の作付面積は前年同月比１２２％となっている。好調な産地相場を背景に、作付面積は伸長しており、１９年産においては生産量の増加が期待される。しかしながら、産地の余剰在庫がほぼ枯渇している状況のため、新穀の開始とともに買い付けと需要が集中し、産地相場を刺激することが懸念される。生産量の増加を差し引いても新穀相場は引き続き堅調、もしくはさらなる上昇の可能性も高いと予想される。
ストロー類	→	↑（円安傾向）	↑	主産地であるオレゴン州ウィラメットバレーでは、年明け以降、多くの生産農家が抱えていた在庫の放出に転じた。このため、新穀の供給が始まって以降上昇を続けていた産地相場も落ち着いてきており、産地における供給力の懸念も薄まっている。
ルーサンペレット（デハイ）	→	↑（円安傾向）	↑	

第10回 酪農いきいきフォトコンテスト作品募集のお知らせ

全国酪農青年女性会議では、酪農家の生活や牛乳の生産現場をより鮮明に消費者に伝えていくことを目的に、「酪農いきいきフォトコンテスト」を実施します。奮ってご応募いただきますようお願い致します。

テーマ
・乳牛のいる風景
・酪農作業風景

※いずれも、酪農家がいきいきと生乳生産に励む様子や、安心安全な生乳生産のため懸命に仕事に取り組む姿勢が感じられるようなもの。

●募集規定

①作品は可能な限り電子データで提出してください。
②自作で未発表のものに限ります。
③作品には、題名・氏名・ふりがな・住所・所属組合名を必ず記載してください。

●応募資格

酪農家

●審査方法

応募作品を「第48回全国酪農青年女性酪農発表大会」の会場内に掲載し、大会参加者の投票による審査を行います。（応募多数の場合は西日本酪農青年女性会議事務局による事前審査を行います。10点以内で全国会議に推薦します。）

●審査結果発表

①「第48回全国酪農青年女性酪農発表大会」2日目に投票結果を掲示。
②「全酪連会報」の表紙に使用します。（号数未定）

●褒賞

・特選（1点）2テーマの中で特別に投票数の多かった作品
・入選（若干数）特選を除いて投票数の多かった作品数点

●その他

①入賞者には賞品を贈呈いたします。
②提出していただいた作品の返却はいたしません。
③応募していただいた作品は、全酪連会報への掲載を含め、今後各地での牛乳消費拡大活動（「父の日に牛乳を贈ろう！」キャンペーン含む）で使用することがありますのでご了承ください。

特選作品紹介のようす（2018年）

多くの応募がありました（2018年）

●応募締切・提出先

2019年5月15日（水）までに、指導課 浜川までご提出ください。

第46回 らくのうこどもギャラリー作品募集のお知らせ

フォトコンテストと同じく、全国酪農青年女性会議による第46回らくのうこどもギャラリーが開催されます。つきましては、作品を募集致します。

●募集規定

①酪農を中心とした題材の図画（大きさは自由）
②自作で未発表のものに限ります。
③作品には、題名・住所・氏名・ふりがな・年齢・学校名・学年・保護者名を必ず記載してください。また、酪農家の子弟については保護者の所属組合名を記載してください。
④作品返却を希望される方は応募時に返却希望の旨を申し出てください。

●応募資格

4歳から中学生までの酪農家の子弟、及び酪農に関心のある一般のお子さん。

●事前審査

応募多数の場合は西日本酪農青年女性会議による事前審査を行い、10点以内で全国会議に推薦します。

●審査結果の発表

「第48回全国酪農青年女性酪農発表大会」の発表資料要旨、および全酪連会報7月号に審査結果を掲載いたします。

●褒賞

特選（1点）、入選（4点以内）、秀作（若干）、ファミリー賞※1（若干）、あすなろ賞※2（若干）
※1 牛とのふれあいなど、ほのぼのとした雰囲気を持つ作品に贈られます。
※2 小学校入学以前の方の優秀作品に贈られます。

●その他

①特選に選ばれた方は、保護者（1名）同伴で第48回全国酪農青年女性酪農発表大会（鹿児島市）に招待します。
②入賞者には記念品を贈呈いたします。
③応募者全員に謝礼を進呈します。
④図画の優秀作品は、作者の顔写真と審査講評とともに「全酪連会報」の最終ページに掲載します。

2018年特選受賞作品

●応募締切・提出先

2019年5月17日（金）までに、指導課 浜川までご提出ください。

大山乳業農業協同組合 からのお知らせ
Dainyu Information

理事会だより 平成31年3月4日・3月9日理事会にて次の議案が決議されました

【3月4日提出議案】
第1号議案　1月末実績検討について
第2号議案　平成30年度決算及び余剰金処分案について
第3号議案　平成31年度事業計画について
第4号議案　酪農関係諸規定の改廃について
第5号議案　雇用関連規程の設置について
第6号議案　固定資産の取得について
第7号議案　第52回通常総会及び総会提出議案について
第8号議案　総会での書面議決について
第9号議案　第52回通常総会の出席奨励金及び記念品について

【3月9日提出議案】
第1号議案　役員補欠選任について

異動辞令等 下記のとおり異動辞令が発令されました

異動辞令(平成31年3月1日付)

(所属及び役職)	(氏名)	(旧所属及び役職)
酪農指導部		
指導課 係長	山本 規子	監査室係長
販売部		
大山まきば 調査役	永田 収	物流課調査役

異動辞令(平成31年4月1日付)

(所属及び役職)	(氏名)	(旧所属及び役職)
販売部		
営業課 課長補佐	山根 倫彦	広島営業所 所長
〔営業所等〕		
津山営業所 職員	中村 幸司	物流課職員
広島営業所 係長	松本 誠	津山営業所 係長

この他の定期異動辞令につきましては、来月号に掲載致します

指導課 平成31年度春期牛群審査・後代検定体型調査のお知らせ

平成３１年度春期牛群審査・後代検定体型調査を行います。ご希望の方は、指導課までお申込みください。

審査・調査予定期間
平成31年4月11日(木)～4月20日(土)
審査員：(一社)日本ホルスタイン登録協会　植原 友一郎 氏

牛群審査並びに個体審査を希望の方は、3月25日(月)までに指導課まで申し込みをして下さい。

後代検定体型調査も同時に行いますので、対象となりました方はご協力の程よろしくお願いします。

営業課 新商品発売のお知らせ

期間限定 3月4日発売

白バラ抹茶 (ホワイトチョコ風味)

段位認定茶師お墨付きの京都府産宇治抹茶を使用した、こだわりの抹茶オ・レです。今年は、白バラ抹茶に相性の良いホワイトチョコレートフレーバーを加え、抹茶のすっきりした苦味の中に甘いチョコレートが香る絶妙なハーモニーをお楽しみいただけるよう仕上げました。

パッケージは、初春から初夏の鳥取県をイメージし、片面には大山の清流とブナ林を、もう片面には二十世紀梨の花をデザインしました。

販売エリア：西日本を中心とした量販店、コンビニ、生協など

ホームページからのお声

■子供たちも小さいころからよく食しています。これからも、安心して安全な食の提供をお願いします。楽しみにしております。（京都府）

■昔から牛乳と言えば白バラ牛乳というくらいの大ファンです！県外からIターンした友人にもオススメしたら、白バラ牛乳のファンになってくれました!!（鳥取県）

■とても素晴らしい商品を有難うございます。味だけではなく、幸せな時間もいただいています。ずっと買い続けて大切にいただきます。有難うございます。（鹿児島県）

■コーヒー牛乳は他社製品と比較にならないくらい美味しいです。クリスマスケーキのスノーフレイクは美味しく食べやすい。64歳のお爺さんは4分の1をペロリと食べていました。（和歌山県）

■週1で宅配牛乳を頼んでいて、毎週楽しみに待っています♪これからも美味しい牛乳を届けて下さい☆（広島県）

■バターを購入しました。今まで食べたことのない味で美味しくてお世辞抜きで感動しました。白バラロールもふわっふわで美味しかったです。（神奈川県）

■牛乳も飲みますが、白バラコーヒーやヨーグルトも好きです。地元のもので安心して口にできるところも気に入っています。小学生の子供は毎日給食で出る牛乳が好きで、家でも同じものが飲みたい!!と言っています。（鳥取県）

4コマ漫画

カウィーのエブリディ！

COWI'S Everyday

さく：福井チーフ　え：堀江あかね

鳥取の観光地

編集後記

小学生の酪農体験では、取材中、楽しそうに学ぶ様子が印象的でした。地域の小学生が地元の酪農について学ぶ贅沢な授業です。2頭の子牛もスクスク育つ事を願っています。

酪農だよりに関するご意見ご感想は下記のメールアドレスまで。

【email@dainyu.or.jp】
こちらのQRコードからもメールアドレスを取得できます▶

Dainyu-PICKUP!

鳥取県の手仕事や食材を楽しむイベント「CO-TORI(コトリ)」が東京・中目黒で開催されました

3月9日から3月17日の期間中、東京・中目黒で鳥取県の手仕事や食材を楽しむイベント「CO-TORI（コトリ）」が開催されました。

同イベントは、今年で7回目を迎え、地域に埋もれている良いものを沢山の人に紹介することを目的に開催され初日から多くの来場者でにぎわいました。

中でも今年は大山乳業農協の白バラ牛乳がテーマに選ばれ、白バラ製品の販売だけでなく、飲食店5店舗が参加する「コトリカフェ」では、白バラ牛乳を使ったプリンや、チーズクリームスープなどの限定メニューを提供し、普段とは一味違う白バラ牛乳で、来場者の舌を楽しませました。

イベントでは、スタッフの方が白バラ牛乳Tシャツを着て白バラ製品を販売するなど、イベントを盛り上げてくださいました。

白バラショップ カウィーのみるく館

カウィーのみるく館 アウトレットセール開催

ご来店はお早めに！

3月30日(土)9:30スタート ～ 売り切れ次第販売終了

数量限定 目玉商品

ワンコインセット

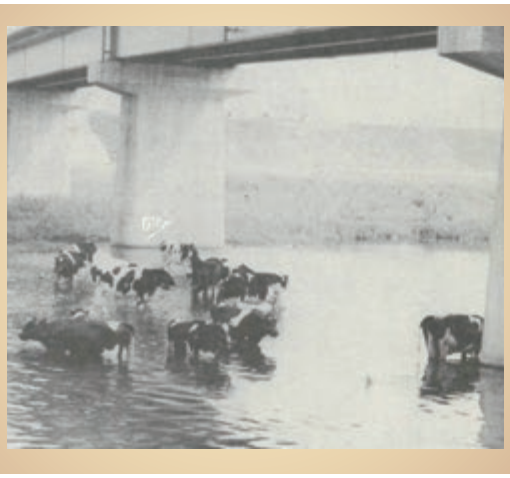
チルドのお菓子詰め合わせセットを、ワンコインのお手頃価格で販売します!!

お買い得価格 500円(税込)

ワンコインセットの他にもお買い得商品を取り揃えてご来店をお待ちしております！

あの日・あの時

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます



今回紹介するのは、昭和49年8月19日発行の酪農だより第151号。千代川畔で水につかる牛達の姿を紹介しています。牛達が自由に川に入る様子は今では見ることのできない、当時を伝える貴重な写真です。

酪農だより vol.686

発行責任者／小前孝夫　編集責任者／平野 浩
印刷所／山本印刷株式会社　発行日／平成31年3月20日

大山乳業農業協同組合
〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
https://dainyu.or.jp　E-mail:email@dainyu.or.jp